

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年9月分)

1. 調査実施期間 平成24年 8月20日 ～9月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

9月分の回答企業数は31社、回収率は81.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/9月	24/10月	24/11月
仕入動向	国産材	0.0	-2.0	0.0
	外材	1.7	-1.8	-5.2
販売動向	国産材	0.0	0.0	4.0
	外材	6.9	1.7	1.7
在庫動向	国産材	-16.7	-10.4	-4.2
	外材	0.0	-6.9	-12.1

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材は9月のゼロから11月に向けて小さなマイナスを経てゼロに、外材は小さなプラスからマイナスに。販売は、国産材は9月のゼロから11月に向け小さなプラスに、外材は、プラス基調で推移。在庫は、先行き不透明で、国産材は9月のやや大きなマイナスから11月に向け多少改善、外材は9月のゼロからマイナスに。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	24/9月	24/10月	24/11月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-3.1	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-3.1	0.0	0.0
米マツ平角	-2.9	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-5.6	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	0.0	14.7	2.9
レッドウッド集成平角	0.0	8.8	2.9
型枠合板(輸入)	3.1	9.4	6.7
針葉樹構造用合板	6.3	15.6	13.3
針葉樹構造用合板(厚物)	10.0	13.3	14.3

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)、ヒノキ正角、ヒノキ土台ともに11月に向け横ばいで推移。米ツガ正角(現地挽)及び米ツガ割物(現地挽)とも9月はやや弱いですが、米ツガ土台を含め11月に向け保合で推移。米マツ平角及び北洋アカマツタルキは、共に9月はやや弱いですが11月に向け保合に。WW集成管柱、RW集成平角とも9月の保合が、11月に向けやや強保合に。合板は、輸入合板、構造用合板及び構造用(厚物)は、9月はやや強く、11月に向けても全てやや強保合で推移。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太では米国8月積み輸出価格は据え置いた様子。カナダ物もオールド強含み、セコグロ保合いと変わらず。北米スプルス丸太は出材量増加せず、益々仕入れ困難。(東京：米材問屋) やっと今月(9月)末に入荷するので一息つける。(東京：米材問屋)</p> <p>8月は予想より売り上げ多かった。今後、少し材を増やすアイテムもある。(東京：集成材等問屋) 構造材に関しては、いつも弱い感じがする。(東京：外材問屋)</p> <p>荷動き悪く必要買いが目立つ。各社仕入れを極力抑えている。(東京：南洋・中国材問屋) 産地は断食休み明けで生産はスローペース。天気は回復。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>盆明け後、荷動き悪いので仕入れは慎重になる。(東京：国産材等問屋)</p> <p>良材不足が深刻。用途によって使用する材を分けたりして腐心している。(東京：仲買・小売) パーティクルボードが不足。(東京：仲買・小売) アカマツタルキ 40×30、45×36 共に 3m を少し先行仕入れする。(東京：仲買・小売) WW は一部、品不足もあって相場は強気だが、需要は不透明。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットでは相次ぐ関西大手メーカーの関東進出により既製品製材の仕事は、ほぼ終了。注文材中心の製材が主力となっているため丸太の消費量は伸びていかない。(東京：米材問屋) まだ荷物の到着まで20日以上あるが、既に予約で完売状態。(東京：米材問屋)</p> <p>東北の販売は順調だが、関東は厳しい。9月からは関東も少し仕事が出そう。(東京：集成材等問屋) 年の前半より良くなってきた。(東京：外材問屋)</p> <p>8月連休後のプレカットの生産は予想を下回り、9月以降に延びているため、当月は荷動き多少良くなると予想。価格は横ばい。(東海：外材問屋)</p> <p>盆休み明けから仕事は始めている。バンドルの引き合い少ないが、注文材は引き合いが活発。(東京：南洋・中国材問屋) 相変わらず小口、急ぎの注文ばかりで利が出ない。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>仕事自体出てきているようだが木を使う仕事が少ない。(東京：国産材等問屋)</p> <p>売上のあまりぱっとしない日が続く。(東京：仲買・小売) 学校関係の仕事で特殊な材料が多く出た。(東京：仲買・小売) まだ夏休み。開店以来最低の月となった。(東京：仲買・小売) 戸建ては相変わらず横ばい、リフォームは物件多い。小規模ゼネコンの保育園、学校、耐震補強工事等に関して内装材の動きが少しある。(東京：仲買・小売)</p> <p>やや増加傾向になってきた。(東海：仲買・小売)</p> <p>新築物件もあり、少し忙しくなってきた。(大阪：仲買・小売) 関西は、一般的には新築停滞。大手ハウスメーカーは良い様子。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ一般材丸太では、問屋もメーカーの必要とする丸太しか持って来ていないことから、不良在庫は見当たらず、適正在庫である。(東京：米材問屋) 在庫はほとんど無し。入荷しても完売で在庫にならない。(東京：米材問屋) 変化なし。(東京：外材問屋) 在庫はほとんど横ばいで推移すると思われる。あえて在庫を増やす必要はない。(東京：集成材等問屋)</p> <p>大きな入荷はなく全体的に少ない。(東京：南洋・中国材問屋) 8月の荷動き悪かったため、在庫は増えているが、9月以降、在庫調整が進むと思われる。(東京：南洋・中国材問屋)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>ヒノキ特一柱は市場から消えて行く途中のように見える。(東京：国産材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>史上最安値のまま推移か。(東京：外材問屋)</p> <p>荷動き良くなってもしばらくは価格横ばい。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
北洋アカマ ツタルキ	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>9月は価格保合。10月からは値上げになりそう。(東京：集成材等問屋) 集成平角は円高以上に安くなっている。(東京：外材問屋)</p> <p>当月は底値横ばい。10月以降の価格は微妙。(東海：外材問屋)</p> <p>WWの3m・4m 27×60 KD、3m 27×90 KDは品薄で2,000~3,000円値戻し。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹はメーカーは値戻し希望も、当月は横ばい。(東海：外材問屋)</p> <p>需要が出てこないと再び下げに転じるのではないか。(東京：仲買・小売)</p> <p>変動ないが、一部値上がりの動き有るかも。(大阪：仲買・小売)</p>